

「夏休み 家族一日図書館員」 が終了しました。

「ホッとHOTこだいらファミリーデー」参加事業として、7月27日(日)に実施しました。市内在住の小・中学生とその家族を対象に、図書館の仕事を体験していただく事業です。中央図書館で2家族、各地区図書館で1家族ずつの計9家族の募集でしたが、今回は30組を超える応募がありました。

当日の様子

職員と一緒に本の排架など、開館前の作業を行い、10時の開館には、「おはようございます」という元気なあいさつで利用者の方をお迎えしました。



カウンター業務では、参加した子供たちが、上手にバーコードリーダー本の貸出や返却を行っていました。保護者の方々は、返却された本を一冊ずつ丁寧に点検したり、表紙をアルコールで拭いたりしていることに驚き、感心されていました。カウンター業務以外にも、館内見学や本にフィルムをはる作業、おはなし会などを体験してもらいました。これらの体験を通して、普段見ることができない図書館の仕事を知ることができ、参加されたどの家族にも、より身近に

ゆう友・遊

＜土曜子ども広場＞

小・中学生を対象にした土曜子ども広場です。みんなで中央公民館へ集まろう！

＜平成20年 9月・10月の日程表＞

参加者は、当日、中央公民館へ

	日 時	メインメニュー
9月6日(土)	午前10時～12時	ふしぎなおもちゃ「ういてこい」をつくろう！ (先着20人・講座室2・費用150円)
	午後1時30分～3時30分	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
9月13日(土)	午前10時～12時	子ども映画会(先着60人・視聴覚室) わんわん物語一思いやりー、おこりじぞうほか
	午後1時30分～3時30分	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
9月20日(土)	午前10時～12時	ビーズでデコデコペンケースをつくろう！ (先着15人・講座室2・費用150円)
	午後1時30分～3時30分	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
9月27日(土)	午前10時～12時	音楽とあそぼう！～リミック・レクリエーション～ (先着20人・視聴覚室・無料)
	午後1時30分～3時30分	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
10月4日(土)	午前10時～12時	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
	午後1時30分～3時30分	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
10月11日(土)	午前10時～12時	子ども映画会(先着60人・視聴覚室) グリーンヴァレー物語・空を飛んだポウさんほか
	午後1時30分～3時30分	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
10月18日(土)	午前10時～12時	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
	午後1時30分～3時30分	「友・遊ひろば」で遊ぼう！
10月25日(土)	午前10時～12時	ミニ万華鏡をつくろう！ (先着20人・講座室2・費用50円)
	午後1時30分～3時30分	「友・遊ひろば」で遊ぼう！

※ 友・遊メニュー(折り紙、オセロ、囲碁、将棋、お手玉、トランプ、ケン玉、おはじき、おしゃべりなど)は、「友・遊」開催中、いつでも利用できます。
※ ボランティアとして、小・中学生に教えていただける方々、また、子供たちと一緒に遊んでいただける方々を募集しています。

【問合せ】 中央公民館
電話 042(341)0861 FAX 042(341)0883
電子メール: kominkan@city.kodaira.lg.jp

図書館を感じてもらえたようです。
※ 排架(はいか)とは、書棚に本を並べる作業のこと。
体験後の感想文から

体験後の感想文では、「親子で良い思い出が作れた」、「お世話になった図書館で本を借りたい」などの感想があり、体験では有意義で楽しい時間を過ごせたことがうかがえます。また、「子供の

方が早くカウンター業務の操作を覚えたい」、「子供が積極的に進んでやってみてびっくりした」という意見もあり、図書館の仕事を生懸命行う子供の姿を新鮮に感じた保護者の方もいらつしたようです。
参加していただいたみなさん、お疲れ様でした。今後もぜひ図書館をご利用ください。(図書館)

9月の教育委員会定例会

日時 9月26日(金)午後2時00分
場所 市役所5階 505会議室
どなたでも傍聴することができま
す(傍聴席は20席・先着順)。
また、会議録は市役所1階市政資料コーナーや小平市教育委員会のホームページからもご覧いただけます。

小平市 教育委員会だより

第79号



平成20年(2008年)
9月1日発行

編集・発行 小平市教育委員会教育庶務課

〒187-8701 東京都小平市小川町2-1333 小平市役所5階/☎042-346-9568
ホームページ http://www.kodaira.ed.jp

2学期の

順調なスタートに向けて

長かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まります。「さあ、がんばるぞ!」と、どの子も皆、元気よく学校生活をスタートしてほしいと思っております。しかし、残念ながら、元気の出ない子供たちがいるのも現状としてあります。子供たちにとって、夏休みの生活からの切換えは容易なことではありません。しばらくの間は、子供たちの様子をよくご覧いただき、適切な支援をしていくことが大切です。

★ 規則正しい生活のリズムを確立させましょう。

〈早寝・早起き・朝ごはん〉

2学期の初め、集会等で気分が悪くなったり、授業中に集中できなくなったりする子がいます。

夏休み中の夜更かしの習慣が直らず睡眠不足であることや、朝なかなか起きられないために朝食を十分に食べなかったこと等、生活のリズムが原因となることが多いようです。

そこでまず、早起きを習慣付けましょう。9月になってもまだまだ暑い日が続きますが、早朝は涼しくさわやかな風が吹いていることもあります。朝日を浴びて軽い運動をすることも勧めてはいいかがでしょうか。起きてからしばらくすると食欲も出

★ 悩んでいる子には協力して支援しましょう。



最初の1週間は生活のリズムの確立に苦労していた子供たちも、2週目にはかなり調子が出てきます。しかし、なかなか調子が出ない子供たちもいます。何か悩みを抱えているのかもしれない。何か家庭と学校でしっかり見守り、連携して支援していくことが大切です。気になることがありましたら、担任、養護教諭、スクールカウンセラー等に連絡、相談してください。

学校と家庭・地域が力を合わせて、子供たちの2学期のスタートを応援しましょう。

(指導課)

かわりあいと「伝える力」



教育委員長職務代理者 伊藤 文代

2学期が始まりました。日焼けした小中学生の登校風景は生き生きとしていて、見るたびに嬉しい気持ちにさせてくれます。

きっと、夏休みの間、子どもたちはいろいろな体験をしたことでしょう。特に遠くに行かなくとも、いつもとは違う時間の流れの中で過ごすこと、また学校の先生や友達とは違う人々との出会いなども、夏休みならではのものだったことでしょう。

さて、小平が押し進めてきた、地域で子どもたちを育てようという取り組みは、子どもたちの夏休みにも変化をもたらしたと思います。青少年をはじめ、いくつもの団体や地域の皆さんが実施してくださる催しは、年々充実してきています。日ごろから定期的に開催されていることも多いことが、夏休みの参加にもつながっているように思います。

子どもたちがそれぞれの場で体験したことや人との交わりで得たものは、この2学期以降、授業をはじめとした日々の学校生活の中で、また学習発表会や運動会などで、知らず知らずのうちに言葉や体で表現されていくことではないでしょうか。

いま、コミュニケーション能力ということがよく言われ、伝える力を育てることが教育の大きな課題の一つとなつていられると聞かれます。人とかかわりあいのなかでの多様な体験をもとに、見たこと、感じたことなどを表すことで「伝える力」が養われ、その力がまた人とかかわりを促すのだと思います。

そして、このプラスの循環のためにも、これからの一層、家庭、学校、地域、教育委員会が力を合わせてさまざまなことに取り組んでいくことが重要だと思えます。

学校自慢

【学校の教育目標】 気品と気概のある子

小平第十一小学校

とってもいい

かしこい子

〈自ら学び、考えて行動し責任をもつ子〉
子供が伸びる授業が展開され、国語や算数などの学習を通して、自ら考え、表現し、友達と学び合う喜びを感じられるようになりました。人と関わり合えるコミュニケーション能力も育ってきています。

つよい子

〈めあてを決めて最後までやりぬく元気な子〉
子供一人一人の自己実現を目指し、「早寝早起き 朝ごはん」、外遊びの励行、縄跳びや持久走に取り組んでいます。栄養のバランスや健康を考え、体はもちろん心も強く逞しく育っています。

特別活動が充実しており、縦割り班活動では異年齢の児童どうし、さわやか館ではお年寄り、幼稚園では園児との交流が盛んです。また、障がいのある方や地域の方々との様々な関わりを通し、思いやりをもって接することができるようになってきました。

〈友だちと仲よく協力し合う子〉

やさしい子



〈合同遠足で水遊び〉



〈学童農園で全学年が野菜作り〉

* 昨年は、開校40周年記念式典が行われました。保護者・地域の方々に見守られ、学校支援ボランティアとして多くの方々にかかわっていただいて、児童一人一人にとっての「とってもいい」学校づくりを進めています。

小平市における特別支援教育の現状

特別支援教育の大綱の制定

平成19年4月から本格的に始まった特別支援教育は、本年度で2年目を迎えました。小平市教育委員会としては、特別支援教育を一層推進するために、昨年度に引き続き「特別支援教育の大綱」を定めました。今回はその主な内容として、基本的な考え方について紹介いたします。(詳細につきましては、教育委員会ホームページをご覧ください)

基本的な考え方

- (1)「通常の学級における支援」の原則
通常の学級に在籍する発達障害の児童・生徒については、通常の学級における支援を原則とします。
- (2)「各学校における研修」の実施
特別支援教育についての一層の理解を進めるために、学校の実情に応じて各学校で計画的に研修を行うこととします。
- (3)特別支援学級(固定・通級)担任による近隣校支援の実施
特別支援学級設置校は、近隣校ブロック内の拠点校となり、他校の特別支援教育の推進について計画的・組織的に協力することとします。
- (4)知的障害学級の機能の維持
従来どおり学習指導要領に基づいた教育課程の編成を行い、固定学級の機能を維持しながら、特別支援教育の理念に基づいた教育活動を行うこととします。

(5)特別支援学校の支援の活用

小平市立小・中学校においては、近隣の都立特別支援学校による支援(コーディネーターの派遣による研修等)を積極的に要請することとします。

(6)副都心制度による交流・理解教育の推進

地域指定校は在籍校(特別支援学校)との連絡を密に行い、副都心の趣旨を踏まえ、間接及び直接交流の推進・充実を図ることとします。

(7)関係機関との連携の強化

特別支援教育の一層の充実に向けては、関係機関の連携が不可欠であることから、外部関係機関のみならず庁内関係各課が調整・連携する仕組みづくりを推進することとします。

(8)体制整備・環境整備

特別支援教育を推進するための体制や環境を整備するためには、人材、施設、予算などの条件整備が必要であり、引き続き関係機関に対して要望・調整等を行うこととします。

(9)市民への情報提供及び保護者の参加

保護者や市民の理解を求めるために、様々な機会や方法で積極的な情報提供を行うこととします。また、保護者や市民のみならず当事者の意見を受け止める仕組みを設け、施策や指導の改善に努めることとします。

今回は、「特別支援教育取り組みの方向性」を紹介いたします。(指導課)

【シルバー大学開講記念講演会】

与謝野晶子の悲しみ・苦しみ・よろこび

与謝野晶子生誕130周年。

短歌以外にも多彩な活動をした与謝野晶子。心の豊かさを追求し、人間性の尊重に対する真摯な姿勢を貫いた。

現代社会が抱える諸問題の解決を、与謝野晶子の作品、思想、活動から探ります。

- と き** 9月27日(土) 午後1時30分 開場
午後2時 開演
- と ころ** 中央公民館 2階 ホール
- 講 師** 香内信子さん(近代文学研究者)
- 費 用** 無料
- 対 象** 市内在住、在勤、在学の方
- 定 員** 150名(先着順)
- 申込み** 9月5日(金) 午前9時から問合せ先へ
(電話可、先着順)
- 協 力** 与謝野晶子倶楽部
(堺市役所国際文化部文化課内)
- 問合せ** 中央公民館(月曜日休館)
電話 042(341)0861



(写真提供: 学校法人文化学院)

図書館児童文学講演会

「絵本とわたし」

福音館書店で「こどものとも」を創刊し、編集長として『ぐりとぐら』『おおきなかぶ』など、多くの絵本を出版された松居直さん(児童文学者・福音館書店相談役)の講演会です。

と き: 9月30日(火) 午前10時~正午

と ころ: 中央図書館

申込み: 9月6日(土) 午前10時~問合せ先へ

問合せ: 中央図書館 電話 042(345)1246

※ 詳細については、市報9月5日号をご覧ください。

多摩・島しょ子ども体験塾

叫び-クワイミンク

と き 10月5日(日) 午前10時~
午後4時(予定)

と ころ 中央公園樹林地

定 員 小・中学生

参加費 無料

申込み 9月8日(月) 午前9時~

問合せ先へ電話で。

問合せ 体育課

電話 042(343)1611

詳しくは、市報9月5日号をご覧ください。

